



## ごあいさつ

晩秋の候 皆さまには益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

会員各位をはじめとする地域の皆さまから、より高い信頼と信託をいただくために、ここに2022年度上半期の経営内容についてご報告申し上げます。

さて、昨今の国際情勢は非常に不安定になっており、ロシアによるウクライナ侵攻等、地政学リスクが高まり世界経済のブロック化が避けられない状況の中で、各国の金融政策はインフレ対策と景気後退懸念という矛盾した対応に取り組まなくてはならない非常に難しい局面になっております。

国内においては、資源価格の上昇や円安の進行に伴い、食品を含む生活必需品の値上げが相次ぎ、需要の柱ともいえる個人消費が実質賃金の減少から圧迫されている状況です。

新型コロナウイルスの発生から間もなく3年が経過し、これから徐々に公的支援制度融資の返済が本格化する中、返済や事業継続が困難になる事業所が表面化する可能性があり、非常に厳しい状況が予想されます。

このような中、稚内信用金庫は経営理念である「信条」を実践するための諸施策を推進して参りました結果、2022年9月末の預金残高は4,733億円となり、前年同月比1.45%増加、貸出金残高は780億円で、前年同月比1.92%の減少となりました。

また、金融機関の健全性を示す自己資本比率については、57.20%（本年9月末）となって極めて健全な経営体質を堅持しております。

地域社会の持続可能性を高めるため、〈地元とともに繁栄します〉を掲げる信条の下、地域の皆さまとともに役職員一同不断の努力を傾注して参りますので、引き続き変わらぬご愛顧を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

2022年11月

理事長 **増田 雅俊**

## CONTENTS

[主な内容]	P 4 開示債権の状況	P 8 有価証券の種類別平均残高
P 1 信条・マーク コンセプト	P 5 預金・貸出金の状況	リスク管理について・法令等遵守の体制
環境基本方針	P 6 市場占有率などの状況	P 9 金利リスクに関する事項
P 2 自己資本の状況	P 7 有価証券の時価情報	P10 稚内しんきんネットワーク